

2024

令和6年1月10日

第54号

(通算100号)

IBARAKI Prefectural Junior College of Industrial Technology

# IT短大VIEW!



## 1 IT活用し導け改善案!

第一学年の「アイデアソン」が、1月11日(木)に実施され、3グループに分かれ、三つの企業(金属技研 株式会社、株式会社 三友製作所、株式会社 東京電機)を訪問しました。

学生は企業を見学し、概要説明の後に、企業が抱える課題が提示され、その課題解決に向けて2月末に対策案を発表することになっています。学生の感想は次の通りです。

【株式会社 三友製作所】吉田海冬さん

医療用の分析装置に関する、大小様々な製品を手掛けているのが印象的でした。課題では、パソコンに関する管理であり、セキュリティなどソフトウェアのサポートに関したものでした。

【金属技研 株式会社】岩見恭彦さん

金属活用を広げるための加工やその用途を学ぶことが出来ました。

頂いた課題は、金属加工における温度、湿度等の管理です。しっかり考えたいと思います。

【株式会社 東京電機】斎藤諒悟さん

現在、生産管理や資材管理を学んでいますが、実際のシステムを見られて勉強になりました。頂いた課題解決に向けてグループで協議していきます。



↑ 株式会社 三友製作所での集合写真



↑ 金属技研 株式会社における説明会の様子



↑ 株式会社 東京電機における説明会の様子

## 3 新春の学び舎

2026年度の「大学校化」に向け、『質』と『量』の両面からデジタル人材の育成を強化していきます。現在も学生のITの専門力に加え、社会人基礎力の醸成に努め、学生が輝く学び舎(環境)づくりを推進しております。



ITから創造した未来へ

## 2 学生を支援する教師陣

### 新春インタビュー

本校の佐藤秀昭先生(工学博士、技術士：情報工学)は、情報の専門技術を学ぶ学生を丁寧に指導されています。この程、AIに関する資格を取得されました。ここではその資格の概要と、新年に向けての学生へのメッセージをお聞きしました。

Q1 今回取得した資格は何ですか?

A1 「JDLA Generative AI Test 2023」という試験で、生成AIを適切に活用する能力や知識を検定するものです。

Q2 何故、この資格を取得しようと思ったのですか?

A2 教育やビジネスで生成AIを活用する世の中になっていきます。指導する教師に必要な知識である 生成AIの「メリット」「デメリット」「リテラシー」を学ぶために資格を取得しました。

Q3 新年を迎え、学生の皆さんへのアドバイスをお願いします。

A3 『過去から学び、今日のために生き、未来に対して希望を持つ。大切なのは何も疑問を持たない状態に陥らないことである』アインシュタインの言葉です。皆さんも世の中で話題になっている技術に対して、疑問を持って学び続けて下さい。



佐藤秀昭先生



茨城県立産業技術短期大学校

URL <http://www.ibaraki-it.ac.jp/> E-mail: [kyoumu@ibaraki-it.ac.jp](mailto:kyoumu@ibaraki-it.ac.jp)

〒311-1131  
茨城県水戸市下大野町6342  
電話029-269-5500